

6 高支課第 8 1 3 5 号
令和 6 年 1 2 月 1 0 日

障害福祉サービス事業所 管理者 様
障害児通所支援事業所 管理者 様

相模原市地域包括ケア推進部高齢・障害者支援課長

請求審査における支給量超過の取り扱いについて（通知）

日頃より本市の障害福祉行政の推進に多大なるご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨今請求審査において支給量超過による返戻が多数発生しております。その原因の多くは、複数の事業所をご利用の方で、各事業所における契約支給量の合計がすでに受給者証の支給量を超過しており、契約のとおりサービス提供及び請求した結果、支給量超過となるものです。

本市では、契約量につきましては、受給者証発行時にご利用者様へお渡ししている事業者記入帳にて管理することとしているため、常に最新の契約情報をご記載いただくとともに、複数の事業所様をご利用の場合は各事業所の契約支給量の合計が受給者証の支給量を超えない範囲で契約されますようお願いください。

また、国保連合会へ伝送する請求情報（契約支給量）についても、事業者記入帳の内容に合わせていただきますようお願い申し上げます。

なお、支給量超過が生じている請求につきましては、「合計サービス提供量が決定支給量を超えているため」といった事由により、該当のご利用者様に対する事業所の請求は全て返戻と扱いますが、国保連合会から一次審査処理結果が配信された 1 週間後までに請求取り下げの申し立てをいただいた場合は、当該事業所の請求のみを返戻とし、他事業所の請求は支給量超過による返戻を行わないものとしています。

つきましては、すでに契約をされているご利用者様の事業者記入帳を改めてご確認いただき、最新の契約情報が記載されていない場合は修正を行うほか、請求の際には、支給決定量の範囲内での契約量及び支給量となるよう事業所間や支給決定者とのご調整等についてご配慮いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

やむを得ず支給量を超える利用が必要となることが見込まれる場合は、速やかに支給決定窓口までご相談ください。

《問い合わせ先》

相模原市 地域包括ケア推進部
高齢・障害者支援課 障害認定・給付班
0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 7 2